だいこく通信　第二十九号「春の号」

ごあいさつ

日頃より当神社での神明奉仕にご協力を賜り、ありがとうございます。

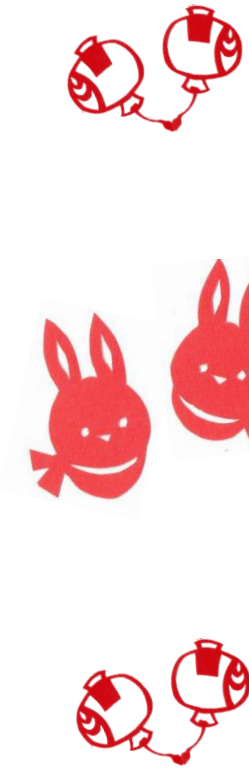
今年の三が日も昨年同様暖かで、当神社の境内には大勢のかたにお運びいただき、大変にぎわいました。海外では、アメリカの政権交代、依然予断を許さない中東情勢、国内に目を向けると、度重なる大規模な自然災害と、落ち着かない事ばかりですが、こんな時こそ、穏やかな心で物事に接しなければと考えます。

社報「だいこく通信」の第二十九号をお届けいたします。

今回の内容は催し物のご案内、神社にまつわる豆知識をお伝えする「お宮あれこれ」、そして、オリジナル・キャラクターが活躍する連載まんがなどです。

本年もなにとぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

大國神社　宮司　大島資生



大國神社の今

（1）「第六回だいこく落語会」を開催します

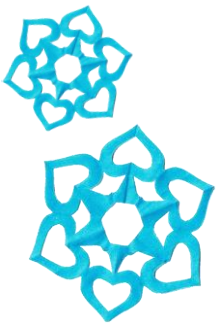
昨年五月に引き続き、古今亭菊乃丞師匠をお迎えして第五回だいこく落語会を開催することとなりました。今回も、江戸情緒あふれる巧みな話芸を存分にお楽しみいただければ幸いです。

お席に限りがございます。参加をご希望のかたはどうぞお早目にご予約ください。（詳細は次ページ）

〈催事詳細〉

第六回だいこく落語会

古今亭菊之丞落語会



日時　五月六日(土)　午後六時開演(午後五時半開場)

場所　大國神社　拝殿

会費　千円（予約制）

ご予約　電話　０８０－１９８７－８７１６

（もしくは直接社務所へ）

※会場の都合により、先着二十五名様とさせていただきます。四月二十九日（土）まで受け付けます。ただし、定員に達し次第、受け付け終了となります。なにとぞご了承くださいませ。

古今亭菊之丞プロフィール

昭和四十七年十月生まれ　平成三年　古今亭圓菊に入門、平成六年　二ツ目昇進、平成十五年　真打昇進。平成十年　北とぴあ若手落語家競演会北とぴあ大賞、平成十三年　市川市民文化賞奨励賞、平成十四年　ＮＨＫ新人演芸大賞落語部門大賞、平成二十年、二十一年、二十三年国立演芸場花形演芸会金賞。平成二十四年度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞、落語協会所属。希望郷いわて文化大使。ＣＤ「古今亭菊之丞 名演集１～５」、ＤＶＤ「古今亭菊之丞落語集　明烏／二番煎じ」「古今亭菊之丞 落語集　景清／酢豆腐」ほか多数。著書『こういう了見』（ＷＡＶＥ出版）

（２）第二回だいこくクラシックスを開催します

前号から予告しております通り、本年秋、第二回だいこくクラシックスを開催します。

・第二回だいこくクラシックス

小林久美ヴァイオリン・リサイタル

日時未定

今回も小林久美さん（東京都交響楽団）をお迎えしてヴァイオリン・リサイタルを開催します。詳細については、改めてご案内いたします。どうぞご期待ください。

（３）絵馬のデザインをリニューアルしました！

当神社でお出ししている開運絵馬のデザインが新しいものになりました。オリジナル・キャラクターの双子うさぎ、大助と白吉が、大国様の小槌をよいしょよいしょと運んでいます。当神社の絵馬は、みなさまのお好みで自由に書いていただいております。一枚五〇〇円でお出ししております。ご参拝の折にはぜひお手に取ってごらんください。

お宮あれこれ～「御神酒」と「御饌」～

神社でご神前にお供えするものを「お供物（くもつ）」と言います。今回はお供物を表わす古い言葉についてお話ししましょう。

お供物の中でも、まず第一に供えるものがお酒で、「御神酒」と書いて「おみき」と読みます。大変古い言葉で、奈良時代の文献に見られます。「き」は「酒」を表わす古い言い方です。「き」の語源には諸説あり、その一つは「いき（息、生気）」ではないかというものです。お酒については、純粋で混じりけがないという意味の「生一本」という言葉があります。この「生（き）」も「いき」にさかのぼるとされているので、もしかしたら「御神酒」の「き」と「生一本」の「き」には関係があるのかもしれません。いずれにしても、この「き」に丁寧を表わす「み」（「み吉野」などと同じです）がついた「みき」という形で使われました。やがて「み」が丁寧を表わすということが忘れられ、江戸時代になると「お」をつけて「おみき」と言うようになりました。このような言葉の成り立ち方は「おみくじ」「おみおつけ」などと同じです。

さて、お酒以外のお供物を表わす古い言葉に「御饌（みけ）」があり、祝詞でよく使われます。「け」は食事を表わす古い言葉で、「古事記」に登場する「大宜都比売神（おおげつひめのかみ）」という神名にも見られます（「げ」と濁っています）。この神様の名前は「偉大な食物の神」という意味を表わします。また、「朝餉（あさげ）」「夕餉（ゆうげ）」という表現にも残っています。

このように、神社で使われている言葉には、時折とても古い言い方がひょっこりと顔を出すことがあります。お参りの折、古代の人々の暮らしに思いを馳せてみるのも、おもしろいのではないでしょうか。

祭礼・祈祷などのご案内

○お祓いのお申し込み・お問い合わせなどは次ページの電話番号もしくはメールにてお願いいたします。不在の場合は、恐れ入りますが、留守番電話のメッセージのあとで、お名前・お電話番号・ご用件をお話しください。のちほどこちらからご連絡いたします。

○諸祈祷受付　商売繁盛祈願、心願成就祈願、厄除け、お宮参りなど、随時祈祷を行なっております。祈祷日時については、お電話にてご相談ください。

〈お問い合わせ・お申し込み〉

○三―三九一八―七九三〇（携帯　〇八〇―一九八七―八七一六）

eメール　daikokujinja@gmail.com

○次回甲子祭
平成二十八年四月七日(金)　午前五時～正午
○開運千人講祈祷祭　毎月一日　午前六時～正午まで

(連載まんが)

大吉うさぎ
～神社しりとり その2～

くま こまち 作

次号発行予定

「だいこく通信第二十九号」、いかがでしたか。次号「夏の号」は、六月六日の甲子祭に発行予定です。

「だいこく通信」第二十九号　平成二十九年二月六日発行
編集・発行　大國神社社務所
〒一七〇―〇〇〇三　東京都豊島区駒込三―二―十一
http://www.daikokujinja.org